

OKI *Open up your dreams*

株主のみなさまへ

第50期報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

沖ウインタック株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第50期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国の高成長に支えられ、輸出が拡大するとともに、国内の政策効果も相まって生産が増加し、企業収益が徐々に改善してまいりました。世界的金融危機により冷え込んだ景気は、企業部門から持ち直し感が広がり、底離れをうかがう情勢となりました。しかし、依然として雇用環境は厳しく、緩やかなデフレが続いていることから、自律的な回復軌道に乗ったとは言いがたい状況でありました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共工事については依然として低調であり、また、民間工事も企業マインドが設備投資に慎重なため、低水準で推移しました。

このような情勢のなか、当社グループは現場力を強化し、営業・施工・保守が強力に連鎖することで業績の落ち込みを最小限に食い止めるべく、一丸となって取り組んでまいりました。しかしながら連結完成工事高、収益は、ともに前年度に比し大幅に落ち込む結果となりました。

今後も厳しい状況が続くと思われる事業環境のもと、当社は本年6月1日をもって沖電気工業株式会社の完全子会社となりました。完全子会社化により、当社の保有する現場力、中堅・中小企業を中心としたマーケットへの営業力と、沖電気工業株式会社の保有するシステム開発力、サービス事業創出力、顧客対応力をより密接に連携、融合させる事ができます。それにより当社は大企業から中堅・中小企業までの幅広いお客様に対して、機器販売、システム構築、保守、運用までのライフサイクル全般にわたって充実したサービスをご提供することが可能となるため、事業・収益を一層拡大できるものと考えております。

厳しい競争に打ち勝つためには、マーケットの開拓と新サービスの創出に取り組むことに加え、コスト競争力を高めることが必須であります。当社グループは、今後もプロジェクト単位のコスト管理、工程進捗管理の徹底、施工生産性の向上などにより原価低減を図り、さらなるコスト競争力の強化に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、平成9年4月23日上場以来今日まで、ひとかたならぬご支援を賜りました事、心より感謝いたしております。今後も企業価値の向上に努めてまいりますので、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



取締役社長
村瀬 忠男

営業の概況

事業の経過およびその成果

当連結会計年度の連結完成工事高は、前期比10.5%減の259億42百万円となりました。

事業別では、情報通信システム事業は、ETC設備工事が増加したものの、大型のセキュリティ関連工事の減少、LAN設備工事、電話設備の営繕工事の件数が減少したことなどにより、前期比4.5%減の183億90百万円となりました。

電気設備事業は、大型新設工事の減少とリニューアル工事の件数が減少したことなどにより、前期比22.5%減の74億53百万円となりました。

収益につきましては、プロジェクトごとの工程進捗管理の徹底によるコスト節減、ならびに販売費及び一般管理費の抑制に注力しましたが、完成工事高が減少した影響が大きく、営業利益は前期比68.2%減の5億41百万円、当期純利益は前期比73.8%減の2億65百万円となりました。

対処すべき課題

今後の日本経済は、外需主導による生産活動が堅調に推移すると予想されることから、企業収益が改善し、設備投資や雇用の増大へと流れが広がる好循環に移行することが期待されます。その反面、緩やかなデフレが長期化する懸念があり、景気回復のテンポは緩慢になると見られております。

当社グループを取り巻く事業環境は、企業収益の改善により設備投資が徐々に増加し、最悪期は抜け出すものの、世界的金融危機以前の水準に戻るまでには至らないと思われれます。

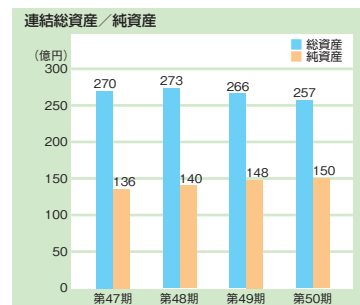
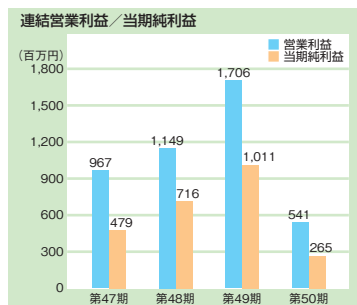
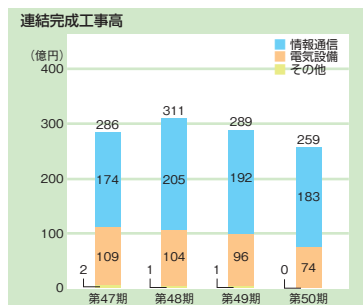
このような環境のもと、当社グループは、平成23年度を最終年度とする中期経営計画におきまして、「現

場力の強化」をキーワードに掲げ、存在感のある強い企業に進化することを目指しております。その実現のために「営業・施工・保守の強力な連鎖」によるローコストオペレーションの徹底と、お客様にご満足いただけるサービスを提供することで、企業信頼度の向上・市場競争力の強化を図ってまいります。

また、沖電気工業株式会社の完全子会社となったことにより、沖電気工業株式会社との連携をなお一層深め、マーケットの開拓と新サービスの創出に努めてまいります。

当社グループは、企業価値を高めていくことが経営の重要課題であると認識しております。関係法令を遵守することはもちろんのこと、コーポレートガバナンスをさらに強化し、社会的良識をもって健全な企業活動を展開することで、グループを取り巻くステークホルダーの信頼を得て企業価値を高めてまいります。

また、「OKIグループ企業行動憲章」「OKIグループ行動規範」にのっとり、当社グループが果たすべき社会的責任を明確にし、コンプライアンスの強化および業務の適正化に今後とも取り組んでまいります。



(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 平成22年3月31日現在	前連結会計年度 平成21年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	18,768	19,419
固定資産	6,952	7,203
有形固定資産	3,456	3,596
無形固定資産	178	234
投資その他の資産	3,316	3,372
資産合計	25,720	26,622
（負債の部）		
流動負債	7,891	9,001
固定負債	2,791	2,806
負債合計	10,683	11,807
（純資産の部）		
株主資本	14,898	14,732
資本金	2,001	2,001
資本剰余金	1,600	1,600
利益剰余金	11,322	11,153
自己株式	△ 26	△ 24
評価・換算差額等	86	23
その他有価証券評価差額金	86	23
少数株主持分	52	59
純資産合計	15,037	14,815
負債純資産合計	25,720	26,622

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	前連結会計年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
完成工事高	25,942	28,974
完成工事原価	20,737	22,677
完成工事総利益	5,205	6,297
販売費及び一般管理費	4,663	4,591
営業利益	541	1,706
営業外収益	179	178
営業外費用	11	11
経常利益	709	1,872
特別利益	1	9
特別損失	85	54
税金等調整前当期純利益	625	1,827
法人税、住民税及び事業税	294	765
法人税等調整額	71	40
少数株主利益・損失(△)	△ 5	10
当期純利益	265	1,011

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	前連結会計年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,671	208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 117	△ 373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 136	△ 140
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額	1,416	△ 305
現金及び現金同等物の期首残高	6,569	6,874
現金及び現金同等物の期末残高	7,985	6,569

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当事業年度 平成22年3月31日現在	前事業年度 平成21年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	16,271	17,050
固定資産	6,869	6,939
有形固定資産	2,721	2,813
無形固定資産	160	211
投資その他の資産	3,987	3,914
資産合計	23,141	23,990
（負債の部）		
流動負債	6,618	7,541
固定負債	2,492	2,539
負債合計	9,110	10,081
（純資産の部）		
株主資本	13,943	13,884
資本金	2,001	2,001
資本剰余金	1,600	1,600
利益剰余金	10,367	10,305
自己株式	△ 26	△ 24
評価・換算差額等	86	24
その他有価証券評価差額金	86	24
純資産合計	14,030	13,909
負債純資産合計	23,141	23,990

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当事業年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	前事業年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
完成工事高	22,136	24,715
完成工事原価	18,082	19,654
完成工事総利益	4,053	5,061
販売費及び一般管理費	3,538	3,601
営業利益	515	1,459
営業外収益	190	170
営業外費用	2	1
経常利益	703	1,628
特別利益	2	9
特別損失	381	51
税引前当期純利益	324	1,586
法人税、住民税及び事業税	186	666
法人税等調整額	△ 20	5
当期純利益	158	914

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (平成22年3月31日現在)

取締役および監査役 (平成22年6月28日現在)

社名	沖ウィンテック株式会社 (英訳名) Oki Wintech Company, Limited
本社	〒140-8688 東京都品川区北品川一丁目19番4号
設立	昭和35年(1960年)5月2日
資本金	2,001,900,000円
従業員数	連結827名(597名)
業務内容	建設業法により、国土交通大臣の許可を受けて電気通信工事、電気工事、消防施設工事およびその他の建設工事の設計、施工、監理、ならびに各種機器の販売・賃貸、各種システムのサポートサービス、コンサルティング、ソフトウェアの製作・販売・賃貸を行っております。

※取締役社長	村瀬 忠男
常務取締役	幡 敏幸
常務取締役	粕谷 誠二
常務取締役	西村 次央
常務取締役	阿部 眞一
取締役	新海 一郎
取締役	矢澤 進
取締役	林 秀行
取締役	星野 秀男
取締役	紀陸 保史
常勤監査役	小笠原 俊夫
監査役	福村 圭一
監査役	下柿元 英夫

- (注) 1. ※印は代表取締役であります。
2. 監査役のうち、福村圭一、下柿元英夫の両氏は社外監査役であります。

ホームページご紹介

◎情報満載のホームページをご覧ください。

当社のホームページでは会社情報、財務情報をはじめ、さまざまな会社情報をご覧いただけます。



